

保守・点検

- 警告** 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、バッテリーのスイッチを切り、本体よりバッテリー(充電機)を必ず取り外してください。不意な始動による、けがの原因になります。
- 注意** 切刃部の取扱いには手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。ご使用後は、刃部の表裏面をブラシできれいに汚れを落としてください。故障の原因になります。

保守と点検について

- 定期点検について
・製品を安全に能率よくご使用いただくために、1年に一度定期点検(有料)に出されることをおすすめします。又、**バッテリー(充電機)は消耗品です**。バッテリー(充電機)寿命による消耗で動かなくなった場合は交換(有料)が必要になります。お買い求めになった販売店に依頼されることをおすすめします。
- 修理について
・正常に作動しないときは、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店またはニシガキ工業(株)にご依頼ください。その他、取扱い上でご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

無料修理規定

- A. 保証期間内でも次のような場合には、有料修理になります。
1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び破損。
 2. お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障及び破損。
 3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、本書指定外のバッテリー(充電機)使用による故障及び破損。
 4. 保管の不備及びお手入れ不備による故障及び破損。
 5. 業務用およびそれに準ずる使用をされた場合の故障及び破損。
 6. 本書でご提示がない。又は本書のお客様記入欄に必要事項が記入されていない。
 7. 切刃などの別売品及び電源コード、バッテリーなどの消耗品類。
- B. 本書の内容等の記入を書き換えられた場合は無効となります。
- C. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
- D. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- E. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはニシガキ工業(株)にお問い合わせください。



ニシガキ工業株式会社

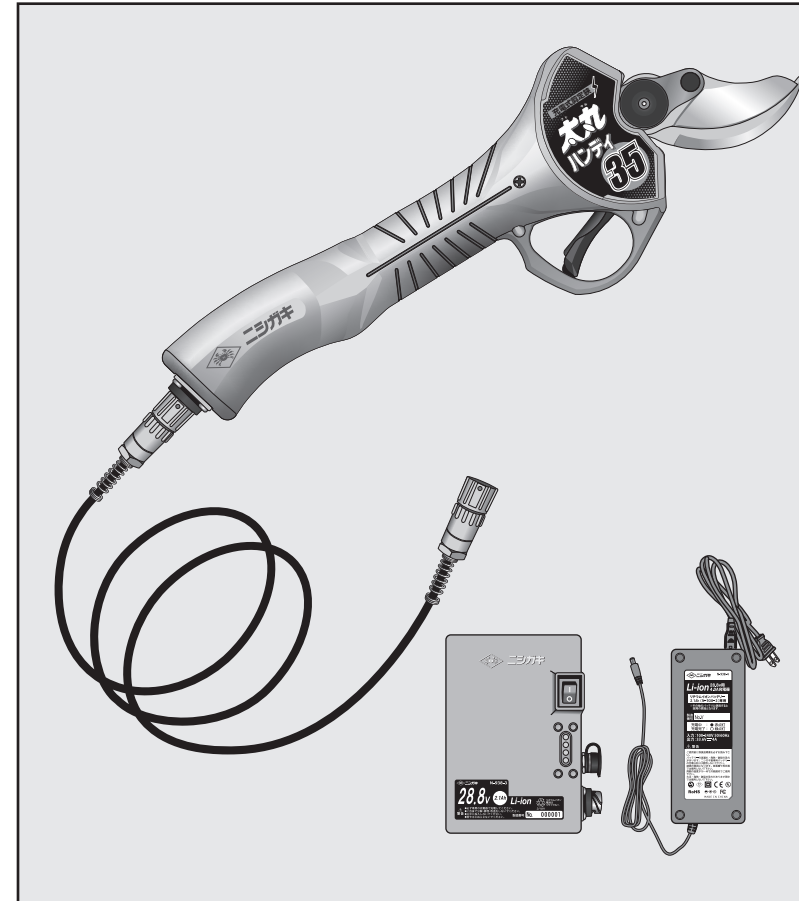
〒673-0404 兵庫県三木市大村500
TEL (0794) 82-1000 FAX (0794) 82-4844



ニシガキ

太丸ハンディ35 取扱説明書

N-938 バッテリー・充電器付きモデル
N-939 本体単品モデル **共用**



もくじ

- 安全上のご注意 P2~P3
- バッテリー・充電器に関する安全事項 P4~P5
- 仕様・各部の名称 P6~P7
- 充電方法 P8~P9
- 使用中におけるインジケータの点灯表示について P9
- ご使用前の点検 P10~P11
- 接続方法 P12
- 装着方法 P13
- 使用方法 P13~P18
- お手入れ・保管について P19~P20
- 故障かな?と思ったら P21
- 刃の交換方法 P22~P23
- 保守・点検/保証書 P24



このたびは、『太丸ハンディ35』をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の性能を十分ご理解の上で、適切にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。リチウムイオン電池はリサイクルへ

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルへ

安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

■表示されている危険度の区分について

警告 誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 誤った取扱いをしたときに、人が損傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

■使用目的

- ・本機は、果樹の剪定、樹木の枝切りなどをするための工具です。上記の用途以外には使用しないでください。

■作業環境

- ・暗所、夜間、霧などで視界が悪い中では作業をしないでください。思わぬ事故やけがの原因となります。
- ・雨天や湿気などがある所では使用しないでください。本体やバッテリー内に水が入り、感電やショートする恐れがあります。
- ・作業中、子供や動物、第三者を近付けないでください。使用者以外の方が重大なけがを負う原因となります。
- ・可燃性の液体・ガス・粉じんのある所では使用しないでください。工具から発生する火花に引火し、発火や爆発の原因となります。

■作業者について

- ・作業者は以下の項目を確認の上で本機をご使用ください。
 - 1) 心身ともに健康で正常な状態であること
 - 2) 取り扱い方法、作業の手順などを理解していること
 - 3) 成人であること。
 - 4) 飲酒・服薬している方は本機を使用しないでください。
- ・安全保護具や服装について。
 - 1) だぶだぶの衣装やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
 - 2) 手ぬぐいやタオルを首、腰から下げて作業しないでください。
 - 3) 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - 3) 作業時は 手袋を使用してください。また、滑り防止安全靴の着用をお勧めします。

■本機を使用するにあたって

- ・作業を始める前に以下の項目をご確認ください。
 - 1) スイッチ類に異常がないか点検してください。
 - 2) ハサミ部の欠けや部品の破損など、使用に影響を及ぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - 3) コード類を確認し、損傷があれば使用せず、お買い求めの販売店またはニシガキ工業(株)へ修理をお申し付けください。
- ・作業するにあたって以下の項目を必ず守ってください。
 - 1) 使用中、ハサミ部に手、腕など身体を絶対に近づけないでください。
 - 2) ハサミ部は鋭利な刃物です。いかなる時にも人のいる方に向けてしないでください。
 - 3) 本体を落としたり・投げたり、ぶつけたりしないでください。
 - 4) トリガー部分に指をかけた状態で本機を運ばないでください。
 - 5) 電源コードに絡まったり引っかかったりしないようご注意ください。
- ・枝などを切断した際は落下物にご注意ください。落下地点に人や動物が立ち入らないようご注意ください。
- ・使用中、本体の調子に異常振動、異常音を感じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止してください。点検・修理をお買い求めの販売店またはニシガキ工業(株)に依頼してください。

警告

- ・使用中、本体やハサミ部に変形、亀裂が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止してください。替刃もご用意しております。お近くの販売店またはニシガキ工業(株)までご用命ください。
- ・作業時、周辺温度が10℃～40℃の範囲でご使用ください。高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- ・作業中は足元の注意がおろそかになります。不安定なところ（脚立の上や木の上など）での作業はしないでください。けがの原因となります。
- ・複数人で作業を行う際は、以下の項目を必ず順守してください。
 - 1) 作業者と作業者の間隔を半径3m以上空けてください。
 - 2) 監督者を置いてください。
 - 3) 使用中、半径3m以内に人や動物が近付いた場合、直ちに本機を停止して注意を促してください。
 - 4) 本機を使用している人に近付く際は、作業者から半径3m以上離れた位置で合図をし、本機の停止を確認してから近付いてください。

■充電式工具に関する安全事項

- ・本機対応のバッテリー以外は使用しないでください。本体の破損、バッテリーの破裂、液漏れ、発熱などの危険性があります。
- ・本体、バッテリー及び充電器には水掛けや、水洗いを絶対にしないでください。また、雨ざらしにしたり、本体や手が濡れている状態では使用しないでください。本体やバッテリー内に水が入り、感電やショートする恐れがあります。バッテリー内部に水が入りショートすると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ・金属製のパイプや電線の近く、暖房器具、アースされているものなどに身体を接触させないようにしてください。感電の恐れがあります。
- ・濡れた手でコード類を触らないでください。感電の恐れがあります。
- ・使用中、本体とバッテリーとを繋ぐコードを切断しないように注意してお使いください。万一コードを誤って切断した場合は、直ちにバッテリーのスイッチを切り、コードをバッテリーから取外してください。感電の恐れがあります。

■本機の手入れと保管について

- ・誤作動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源コードをバッテリーから取外してください。替刃や付属品の交換、潤滑油の注油、保管または修理、本機の受け渡し等。
- ・お手入れや整備の際は、必ず手袋をしてください。素手でハサミ部や部品に触れると、けがの恐れがあります。
- ・使用後はバッテリーのスイッチを切り、電源コードをバッテリーから取外し、ハサミ部の停止を確認してから汚れや樹液を取除いてください。布で拭き取る場合は、ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油類はプラスチックを溶かしますので使用しないでください。ハンドル部分に油やグリスがつかないようにしてください。
- ・本機は子供の手の届かない乾燥した場所に保管してください。雨のかかる所、湿気のある所、直射日光の当たる所には保管しないでください。
- ・切刃は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。切刃の摩耗は、電池の消耗や過度な負荷による本体の故障につながります。
- ・充電状態では作業をしないでください。機器の破損やバッテリーの劣化につながります。
- ・分解、修理、改造は決して行わないでください。異常動作や怪我の原因となります。また、本機に分解、修理、改造を行った場合、補償対象外となります。

バッテリー・充電器に関する安全事項



警告

■バッテリー・充電器について

- ・バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
専用品以外の充電器を使用すると、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- ・専用バッテリー以外を本体に接続しないでください。また、改造したバッテリーを使用しないでください。
本体の故障、火災、破裂などの原因となります。
- ・バッテリーに対して、以下の行為をしないでください。火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
 - 1) 火の中に投下したり過熱をする行為
 - 2) 火のそばや炎天下(50℃以上)で充電、保管、使用する行為
 - 3) 水を掛ける、浸すなどの行為
 - 4) 釘を刺す、落とす、叩く、投げるなど、強い衝撃を与える行為
 - 5) 端子部分に針金などの金属を接触させる行為
 - 6) 高圧やマイクロ波にさらす行為
 - 7) 分解・改造などの行為
- ・バッテリーから漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
万が一液が目に入ったら、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。液はかぶれや火傷の原因となることがあります。
- ・電子式変圧器に接続しないでください
充電器の電源として使用すると異常な発熱、発火の恐れがあります。
- ・不要になったバッテリーは一般のごみと一緒に捨てないでください。
ゴミ収集車でショートし、発火、火災の原因となる恐れがあります。
- ・充電する前に、バッテリー・充電器の本体やコード類に破損がないか確認してください。
破損や損傷は、感電・火災の原因となります。
- ・本体を使用中、バッテリーが熱くなることがあります。火傷にご注意ください。
長い時間肌に触れていると、低温火傷をする恐れがあります。
- ・充電器の電源プラグにあっていない電源コンセントを使用しないでください。
感電の恐れがあります。
- ・充電器の接続部分に針金などの金属で接続しないでください。
発熱し、やけどの原因となります。
- ・濡れた手で充電器を抜き差ししたり、プラグを持ったりしないでください。
感電の原因となります。
- ・長時間使用しない場合は充電器のプラグをコンセントから抜いてください。
火災の恐れがあります。
- ・充電器にほこりやゴミが付着している場合は、拭き取ってから使用してください。
火災の恐れがあります。
- ・ラッカー、シンナー、ガス、ガソリンなど、引火性の液体・気体がある場所では充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
- ・段ボールなどの紙類、衣類、カーペットなど、燃えやすいものの上で充電をしないでください。
火災の恐れがあります。
- ・充電中は、バッテリーと充電器を布などで覆わないでください。
火災の恐れがあります。



警告

- ・充電中に発煙、異臭などの異常が発生した場合はすぐに充電器のプラグをコンセントから抜いてください。
冷えたのを確認してバッテリーを取り外してください。
- ・長時間使用しない場合は充電器のプラグをコンセントから抜いてください。
火災の恐れがあります。
- ・バッテリー、充電器を、幼児の手の届く場所に保管しないでください。
けがなどの原因となります。



注意

- ・充電時、周辺温度が10℃～40℃の範囲でご使用ください。
高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- ・バッテリーを充電器に接続したまま放置しないでください。
長時間充電するとバッテリーの性能が劣化します。
- ・充電状態では作業をしないでください。
機器の破損やバッテリーの劣化につながります。

memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

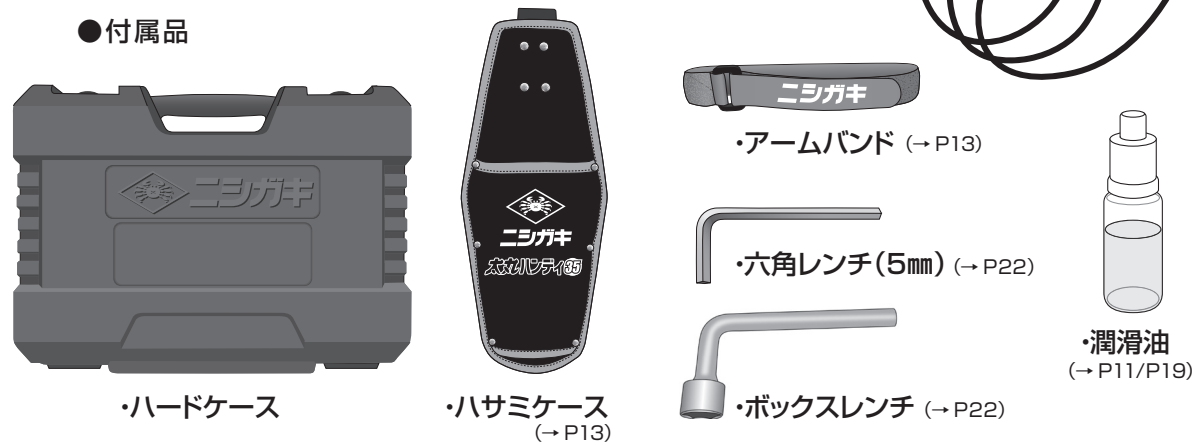
.....

仕様・各部の名称

■太丸ハンディ 35 本体



●付属品



【モーター・その他仕様】

項目	仕様
モーター定格電圧	ブラシレスモーター 28.8V
モーター定格消費電力	366W
切断能力	生木 約35mm*
切断速度	開口モード35mm時…約0.6秒* / 1サイクル

*参考数値であり、バッテリー状態や使用状況により異なります。

【品番別付属品一覧表】

品番	品名	太丸ハンディ35本体	バッテリー	充電器	28.8V用電源コード	アームバンド	レンチ2種	潤滑油	ハサミケース	ハードケース
N-938	太丸ハンディ35(バッテリー・充電器付)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
N-939	太丸ハンディ35(本体のみ)	○	×	×	○	○	○	○	○	○

対応品

- 替刃 N-938-1 : 太丸ハンディ 35 用上刃、N-938-2 : 太丸ハンディ 35 用下刃
- 対応バッテリー N-938-3: 28.8V/2.1Ah バッテリー

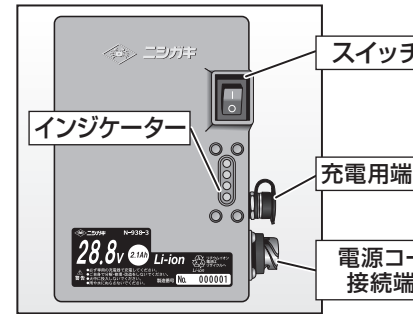
※記載のバッテリー以外では使用しないでください。

N-938 付属品 バッテリー・充電器

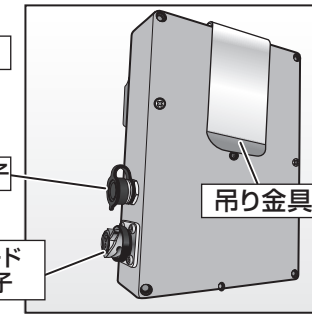
■バッテリー (充電池) ※以降「バッテリー」と記載

品番:N-938-3

■表



■裏



- スイッチ
上 [I] でON
下 [O] でOFF



項目	仕様
電圧	DC28.8V
電池	リチウムイオン電池
容量	2.1Ah
質量	約0.6kg
過電流防止装置	内蔵
充電回数の目安	約500回



警告

本製品は、14.4V対応製品に接続することはできません。充電の際は、必ず付属の専用充電器 (N-938-4) をご使用ください。

【バッテリー寿命について】

正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合はバッテリー寿命とお考えいただき、新しいバッテリーをお買い求めください。
(※切刃の切れ味が低下した場合にも、作業量が少なくなる事があります)



注意

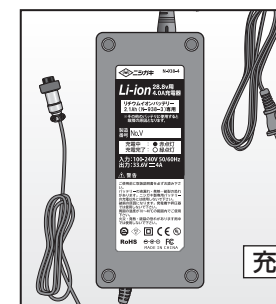
バッテリーの保管について (重要)

- バッテリー容量が少ない状態で放置しないでください。(過放電状態になるとバッテリー寿命を縮めます)
- 満充電状態のバッテリーを再度充電しないでください。
- 長期間 (6ヶ月以上) ご使用にならない場合は、満充電に近い状態で保管してください。
- バッテリーを長期間保管する際は必ず本体または充電器から取外し、高温・多湿を避けて保管してください。

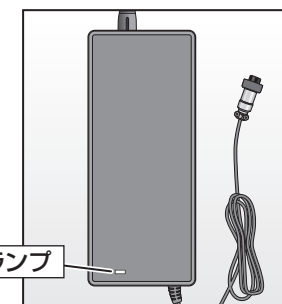
■充電器

品番:N-938-4

■表



■裏



- 充電中…赤色LEDランプ点灯
- 充電完了…緑色LEDランプ点灯



項目	仕様
入力	AC100V~AC240V 50/60Hz
出力	DC33.6V/DC4.0A
充電時間	約45分*
質量	約0.5kg

※充電時間は周囲の温度やバッテリーの状態により変動します。



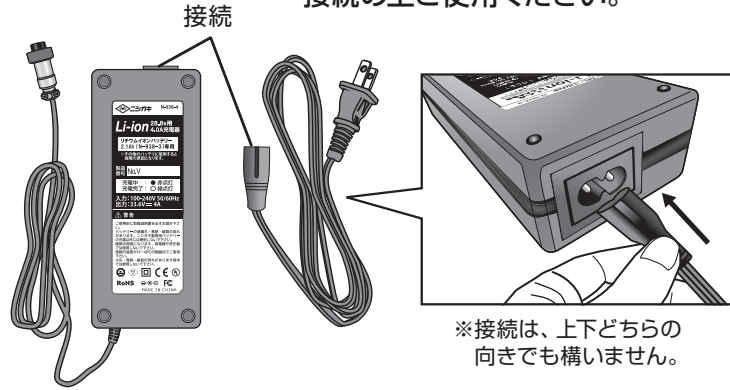
警告

付属の28.8V/2.1Ahバッテリー (N-938-3) 専用充電器となります。その他のバッテリーに使用すると故障の原因となりますのでおやめください。

充電方法

- ※初回ご利用時は満充電にしてから、ご使用ください。
- ※充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。
- ※充電状態は充電器のランプで表示しています。(図1参照)

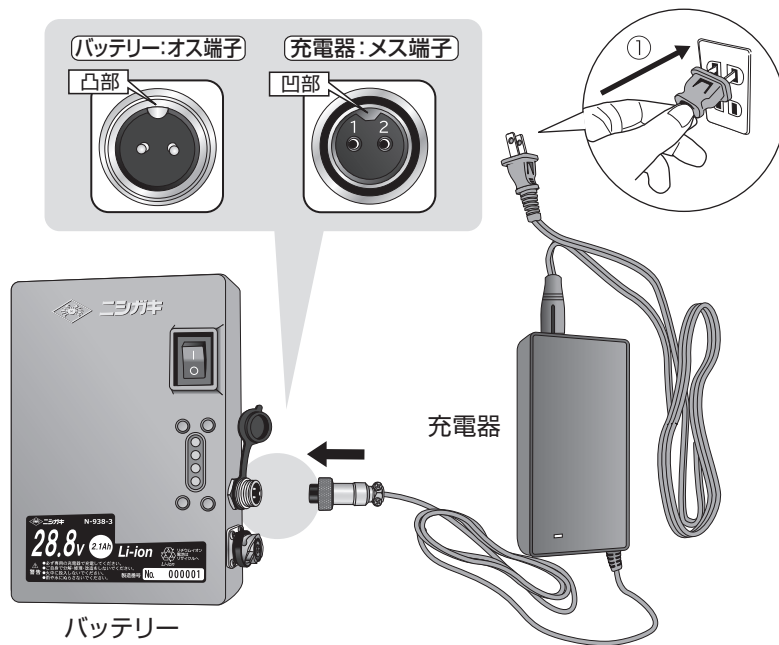
【プラグコードの接続】ご購入時は充電器本体とプラグコードが別になっていますので、接続の上で使用ください。



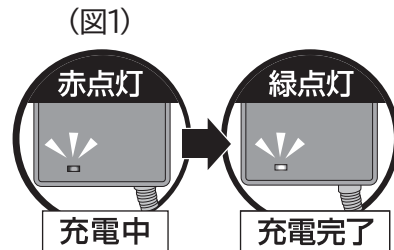
警告

本製品付属の充電器(N-938-4)は、付属の28.8V/2.1Ahバッテリー(N-938-3)専用充電器となります。その他のバッテリーに使用すると故障の原因となりますのでおやめください。

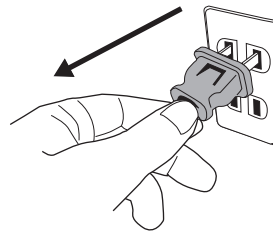
①充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。



③充電器のランプが緑に点灯すれば充電完了です。バッテリーを充電器から取外してください。

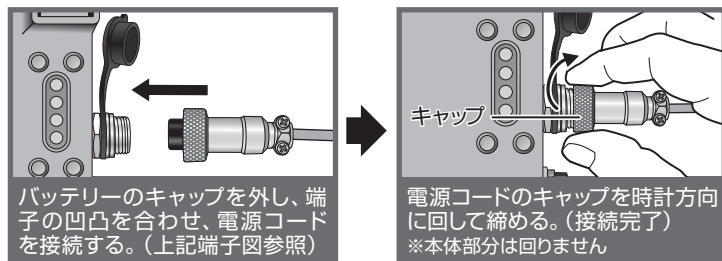


④充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



充電時間の目安: 約45分
(N-938-4: 4.0A充電器使用時)
※充電時間は周囲の温度やバッテリーの状態により変動します。

②バッテリーを充電器に接続します。
(充電器のランプが赤に点灯します)



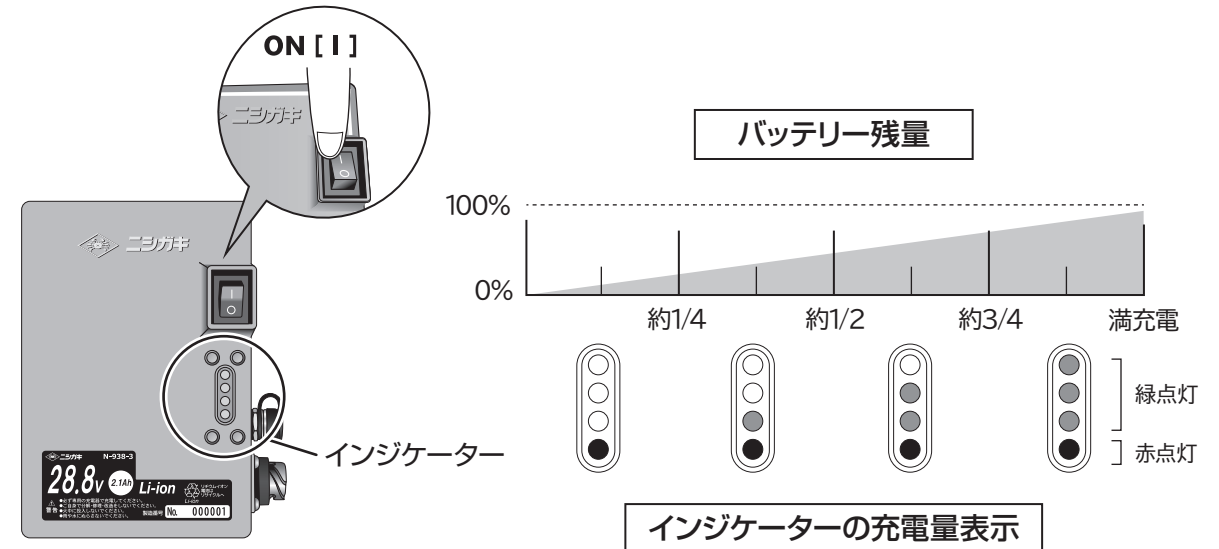
注意

- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・周囲の温度が10℃～40℃の間で充電ください。それ以外の温度で充電されますと充電完了までの時間が長くなります。
- ・充電器をバッテリーに接続したまま放置しないでください。バッテリーの性能が劣化します。
- ・充電完了後は、必ず充電器からバッテリーを取外してください。
- ・充電状態での使用はおやめください。機器破損の原因となります。

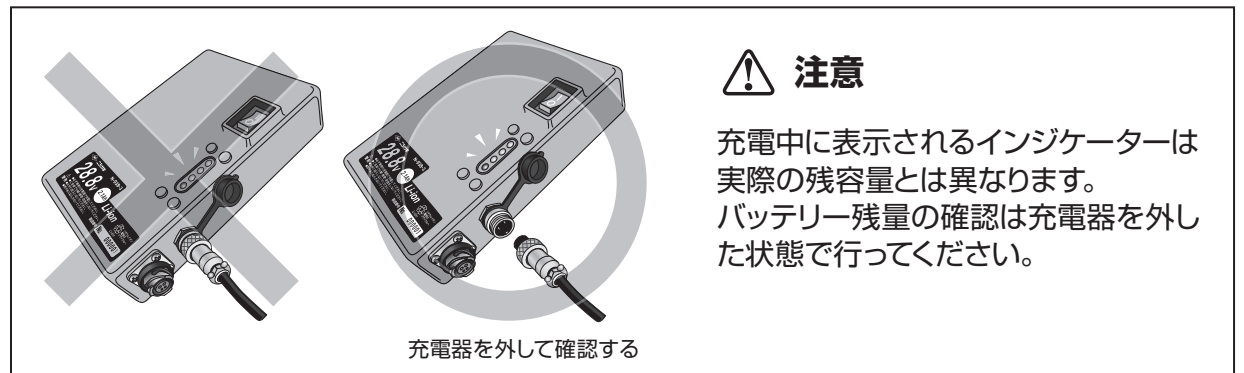
使用中におけるインジケータの点灯表示について

点灯表示とバッテリー残量の目安

バッテリーのスイッチをONにすると、インジケータが点灯します。



表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。



注意

充電中に表示されるインジケータは実際の残容量とは異なります。バッテリー残量の確認は充電器を外した状態で行ってください。

ご使用前の点検

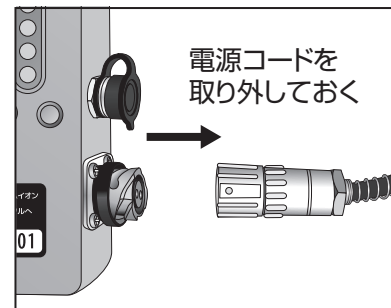
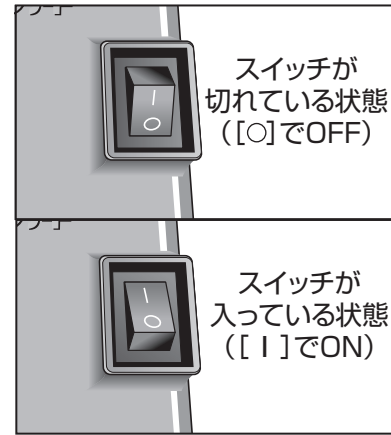


注意

- ・安全に作業を行うために周辺を整理し、足場を良くしてください。
- ・鉄芯、針金、板などの異物がないか確認してください。
- ・必ず手袋を着用してください。

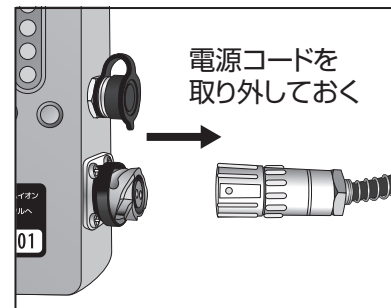
1. バッテリーのスイッチが切れていることを確認してください。

本機は、スイッチが入っている状態で接続しても、ハサミ部分が開かない仕様になっていますが、操作ミスによるケガを防ぐためにも、必ずスイッチが切れている状態を確認してください。



2. バッテリーの電源コードを取り外しておく。

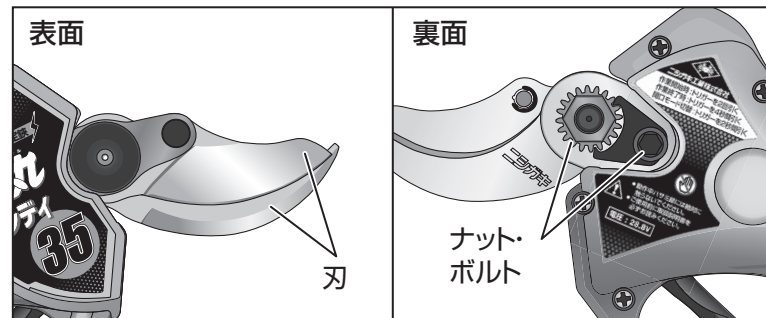
1.と同様、操作ミスによるケガを防ぐため、バッテリーの電源コードを取り外しておいてください。



3. 本体に以下の項目がないか点検をしてください。

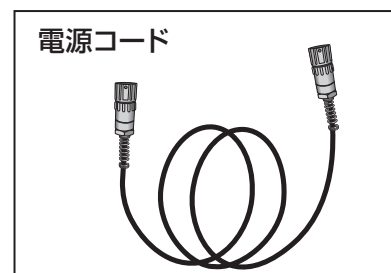
ハサミ部…異物のカミ込み、刃カケ、刃ワレ等

ナット・ボルト部…ゆるみ、破損等



4. 電源コードに以下の項目がないか点検をしてください。

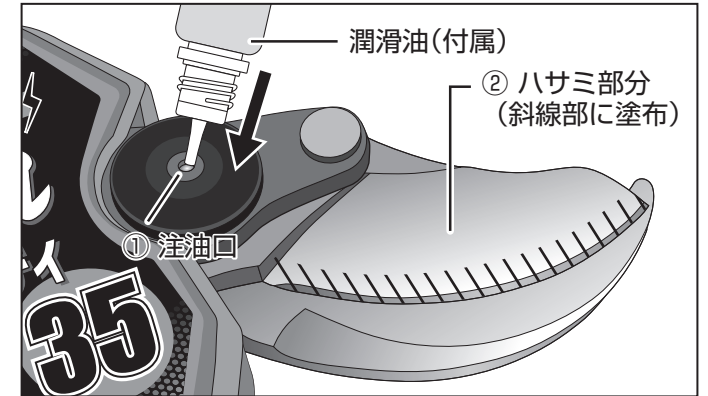
コードの断線、プラグ部分の破損等



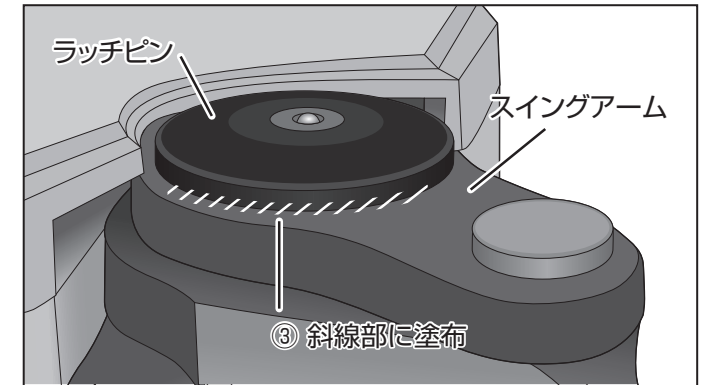
注油について

・作業前に、必ず付属の潤滑油、もしくは市販の潤滑油（機械油）などを十分に注油してください。

- ① 付属の潤滑油の先を、本体注油口に押し込み注油する。
- ② ハサミ部分の斜線で印した部分に、付属の潤滑油を塗布する。



- ③ ラッチピンとスイングアームの隙間（白い斜線部）に、潤滑油を塗布する。

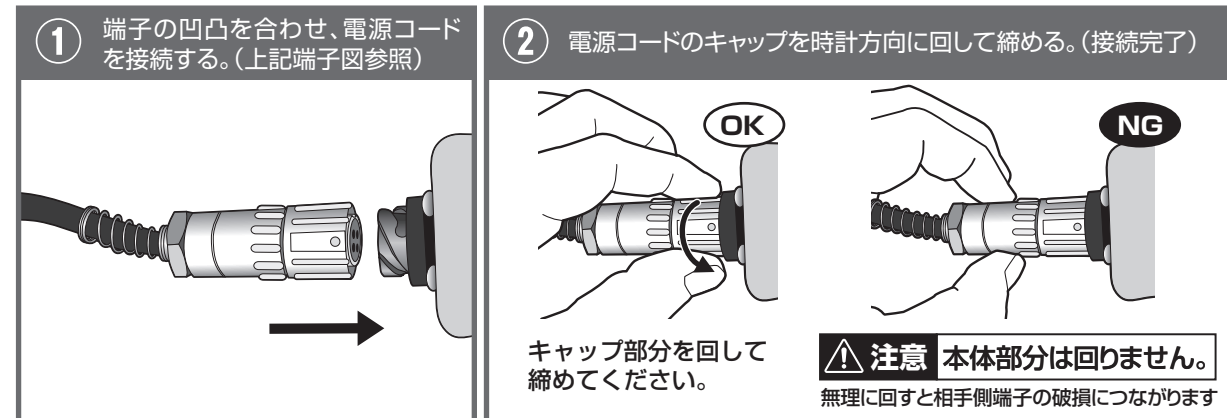
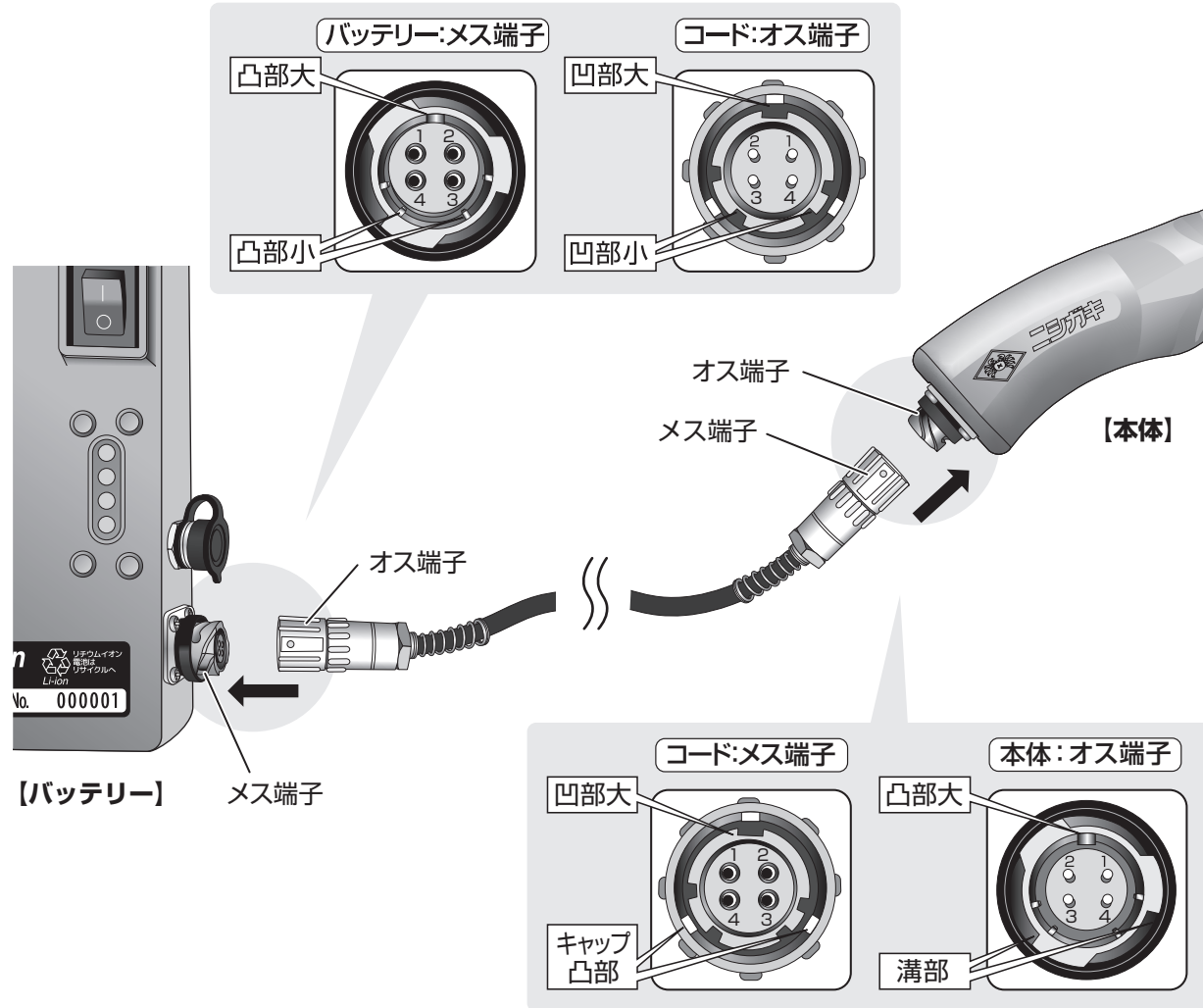


注意 注油をおろそかにすると、金属部分の焼き付きが起こり、破損・故障の原因となります。作業前には必ず注油を行ってください。

接続方法

⚠ 本製品は 14.4V 対応製品及び 14.4V バッテリーに接続する事はできません。

- ・付属の電源コードでバッテリーと本体を接続します。
コードの向きを間違えないようご注意ください。



装着方法

ハサミケースの装着



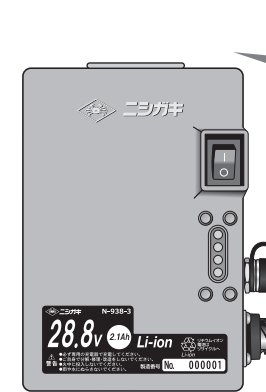
ループ部分

- ・ケースのループ部分を、ベルトに通してください。

装着図



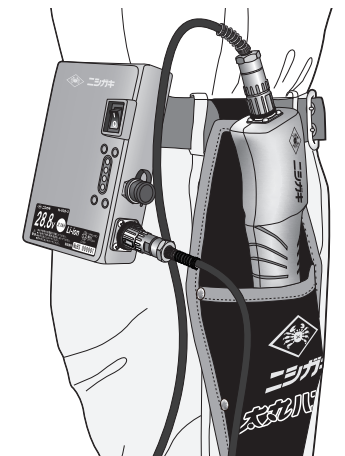
バッテリー・本体の装着



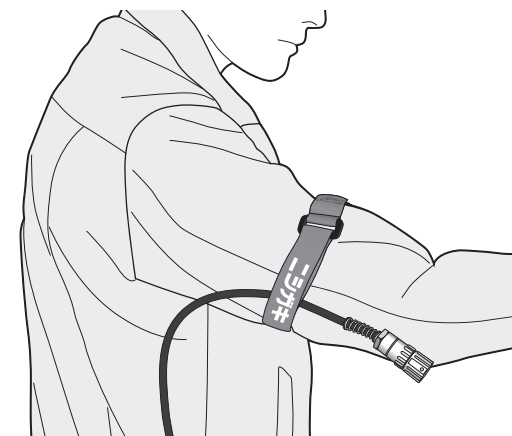
吊り金具

- ・バッテリーの吊り金具を腰ベルトに差込み装着してください。

装着図



アームバンドの装着



作業中、コードの絡まりが気になる方はアームバンドをご利用ください。

- ・上腕にアームバンドを巻き、コードを通して本体に接続します。

⚠ 注意 バッテリーの電源は切った状態で接続してください。

使用方法

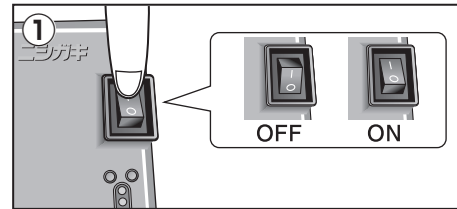
注意

- ・作業前・作業後にはハサミ部に注油（機械油）をしてください。（P10.ご使用前の点検の項を参照）
- ・使用中、ハサミ部に強い衝撃を加えるような使い方はしないでください。ハサミ及び本体の破損につながります。（保証対象外）
- ・剪定作業時、充電時共にバッテリー及び周辺温度が10℃～40℃の範囲内でご使用ください。
- ・連続使用の場合、本体（モーター）が熱くなりましたら使用を中止し、温度が下がるまで待ってください。（そのまま使用し続けた場合、モーター焼け・故障の原因になります）

枝切り作業

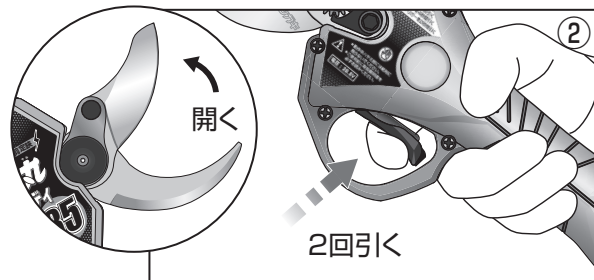
①バッテリーのスイッチを入れてください。

（太丸ハンディ35本体より電子音が1回鳴ります）
上 [I] を押すとON、下 [O] を押すとOFFになります。



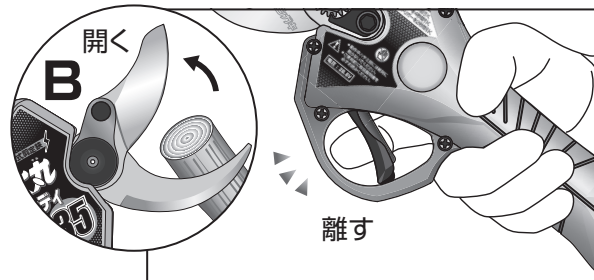
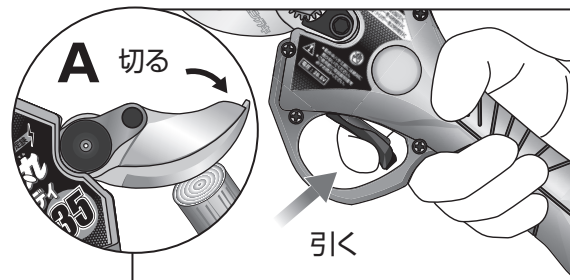
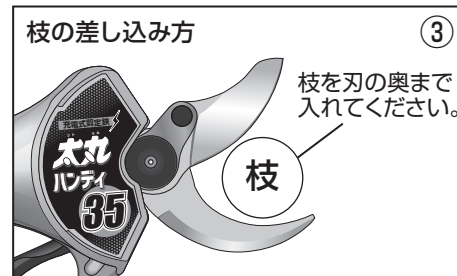
②トリガーを素早く2回引く ※目安として0.5秒以内に2回（ダブルフリック）と、刃が開きます。

※2回目の後、指は離してください



③右図を参考にハサミ部に枝を差し込んでください。

- A. 枝が切れるまでトリガーを引いてください。
B. トリガーから指を離すと、ハサミ部が自動的に開きます。
A-Bの作業を繰り返すことにより、連続作業ができます。

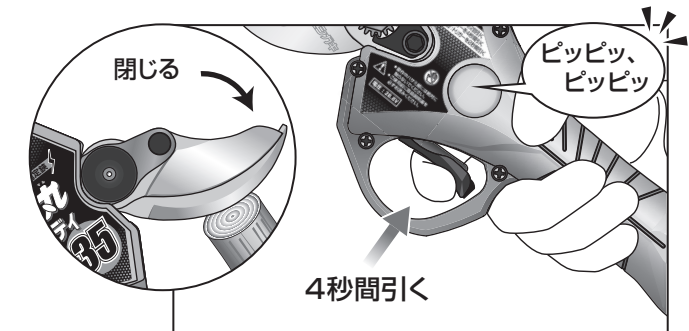


作業を終える時は・・・

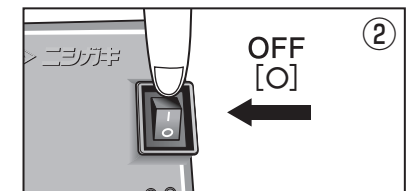
- ・安全のために必ず刃を閉じて終了してください。

①トリガーを4秒間引く

トリガーを4秒間引くと、刃が閉じた状態のまま静止します。
本体より電子音が4回*鳴ります。
※2秒間隔で2回（計4回）

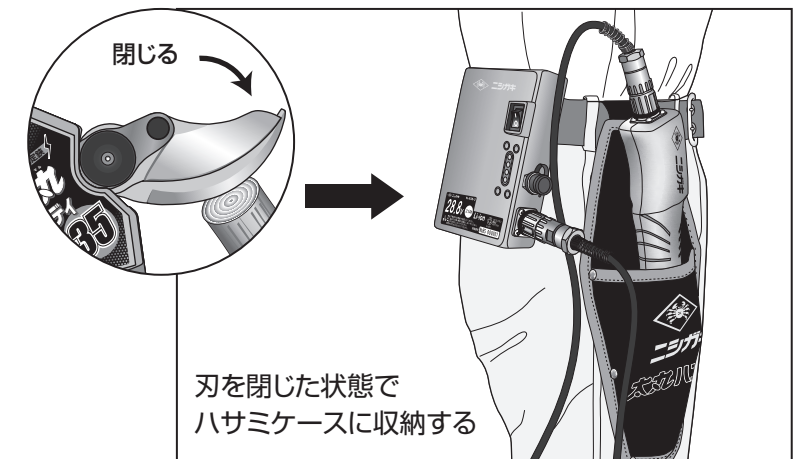


②バッテリーのスイッチを切る



ハサミケースへの収納方法

- ・安全のために必ず刃を閉じた状態で収納してください。
- ・刃を閉じるには、上記「作業を終える時は・・・」の①を参照してください。
- ・待機モードを解除するには、トリガーを素早く2回引いてください。



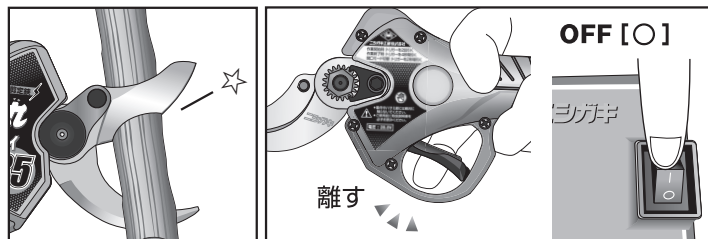
警告

剪定しようとしている枝を、もう片方の手で保持して切断することは絶対にしないでください。重篤な事故を引き起こす原因になります。

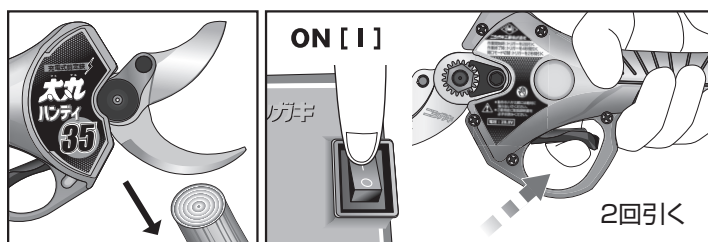
モーター安全装置について

- ・切断能力以上の枝を切ろうとしたり、金属等の異物が挟まると、モーターに負荷がかかり、ハサミ部は大きく開いて停止します。
- ・ハサミ部に異物が挟まっていたら以下の手順で取り除いてください。

①異物を挟むなどでハサミ部が停止した際は、トリガーから指を離し、バッテリーのスイッチをOFFにします。

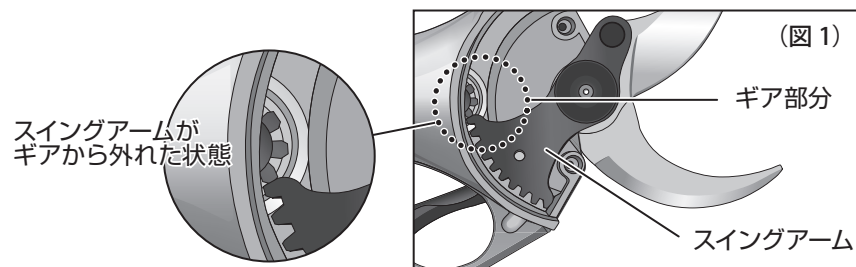


②異物を取り除き、バッテリーのスイッチをONにして、トリガーを2回引くと復帰します。



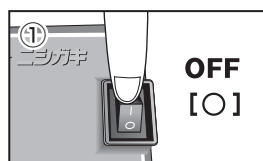
刃が大きく開いたまま閉まらない時は

- ・枝に押し付けるなどして刃の開口部を限界より開けてしまうと、スイングアームがギア部分から外れ、トリガーを引いても刃が閉まらなくなる場合があります。(図1)



- ・トリガーを引いても刃が閉まらない場合は以下の方法で刃を閉じてください。

①バッテリーのスイッチをOFFにします。



②布などを敷いた地面上刃を当て、ゆっくりと力を入れて刃を閉じてください。



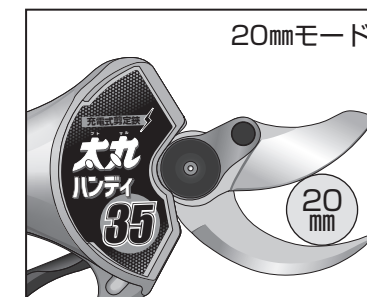
- ・一度に強い力を加えないでください。
- ・必ず手袋を着用してください。
- ・刃が戻らない場合は、お買い上げ販売店もしくは弊社に修理をご依頼ください。

切断径モードの切り替えについて

- ・トリガー操作で、切断径モードを変更することができます。

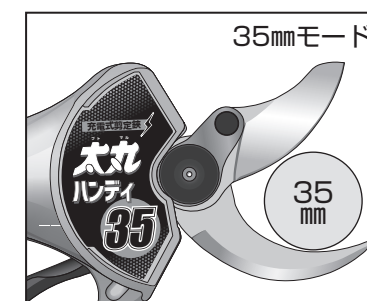
20mmモード

直径20mmまでの枝を切断することができます。枝が混み合って狭いところや、細い枝を連続で切る場合に適しています。

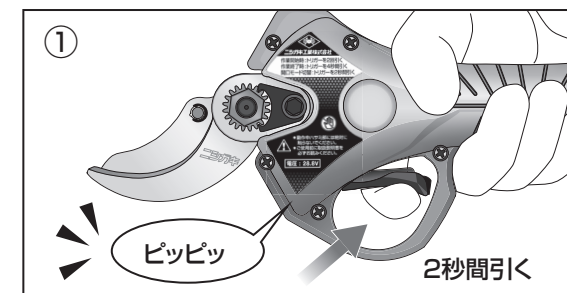


35mmモード

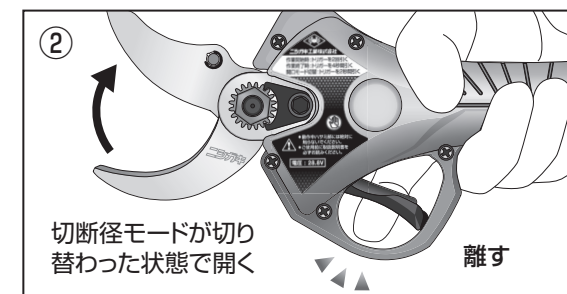
直径35mmまでの太い枝を切断することができます。



①刃が開いた状態で、2秒間トリガーを引きます。刃が閉じ、電子音が2回鳴ります。



②トリガーを離すと、開口モードが、20mm→35mm、35mm→20mmと切り替わります。



- ・切断径モードにかかわらず、待機モードからの復帰時、並びに電源オフ後の再電源投入時は、35mmモードになります。

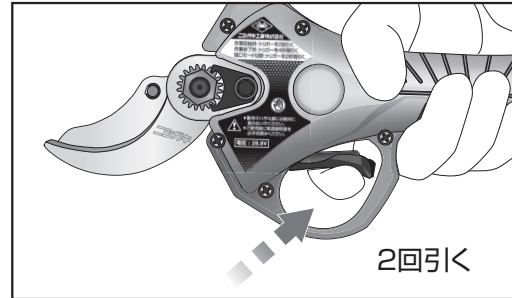


- ・切断径モードを切り替える際は、手や指を刃に近付けないでください。
- ・トリガーを引いたまま4秒を超えると、本機は電源OFFとなり、トリガーを離しても刃は開きません。その場合は、トリガーを素早く2回引いて本機を起動させ、①の手順からやり直してください。

待機モードについて

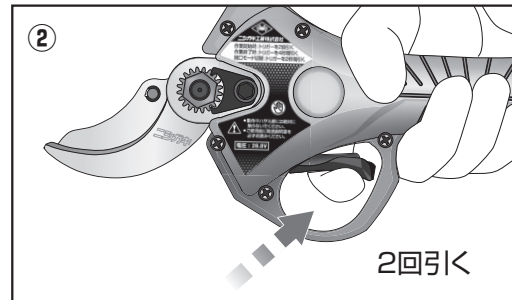
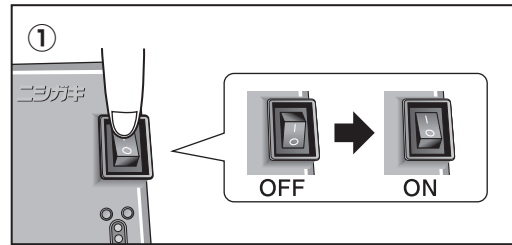
- 電源を入れたまま一定時間以上放置すると、本機は自動的に待機モードになりますので、下記の方法で解除してください。

- 【待機モード】刃を開いた状態で放置時間 3 分→トリガーを素早く 2 回引いてください



- 【オートパワーオフ機能】待機モードよりさらに 10 分放置、もしくは刃を閉じた状態で 10 分放置→

- ①バッテリーのスイッチを入れ直し、②トリガーを素早く 2 回引いてください



操作と電子音について

操作名	操作	電子音
【起動1:電源を入れる】	バッテリーの電源スイッチをON【1】にする	ピー
【起動2:刃を開く】	トリガーを2回素早く引く	ピッピッピ
【待機モード】	3分間操作しない	ピピピピ
【オートパワーオフ機能】	待機モードの状態からさらに10分間操作をしない	ピピピピ
【開閉モード切替】	トリガーを2秒間引く	ピッピッ
【終了】	トリガーを4秒間引く	ピッピッ、ピッピッ

お手入れ・保管について

警告 事故を防止するため、必ずスイッチを切った状態で行ってください。

注意 刃の交換時は必ず手袋を着用し、手や顔などに刃が触れないようにしてください。

■本体の手入れについて

- ・乾いた布か石けん水に浸した布できれいに拭いてください。
- ・ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使用しないでください。

■刃の手入れについて

- ・作業後は樹液・ホコリなどをブラシや布などで取り除き、付属の潤滑油、もしくは市販の潤滑油（機械油）など錆止め効果のある油を塗布してください。

■保管場所について

- ・刃を閉じた状態でバッテリーを切り（P15参照）、バッテリーを本体から取り外したうえで、雨のかかる所、湿気のある所、直射日光の当たる所を避け、乾燥した所で子どもの手の届かない所に保管してください。

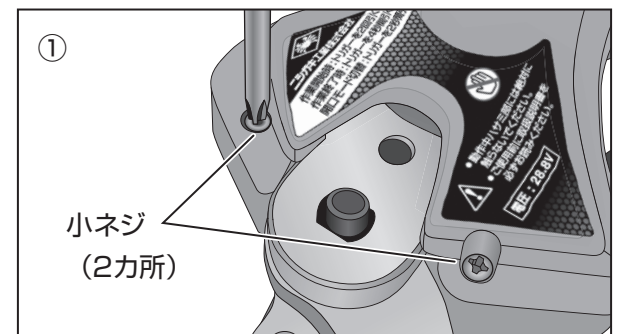
■注油について

- ・作業前と作業後に、必ず付属の潤滑油、もしくは市販の潤滑油（機械油）などを十分に注油してください。
※ご使用前の点検(P11)を参照

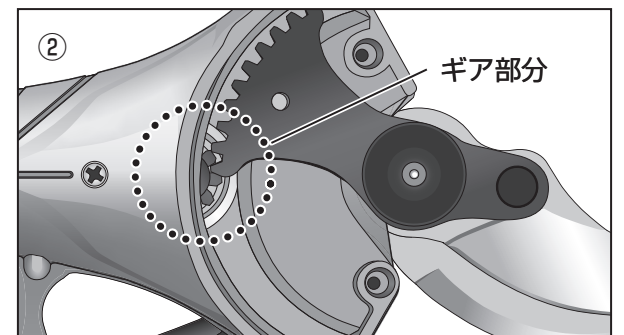
■グリースの塗布について

- ・替刃交換時、及びワンシーズンに1度程度、ギア部分にグリースを塗布してください。
※付属の潤滑油ではなく、リチウムグリースなどの市販のグリースをご使用ください。

- ①裏面のネジを2カ所取外し、サイドカバーを外してください。

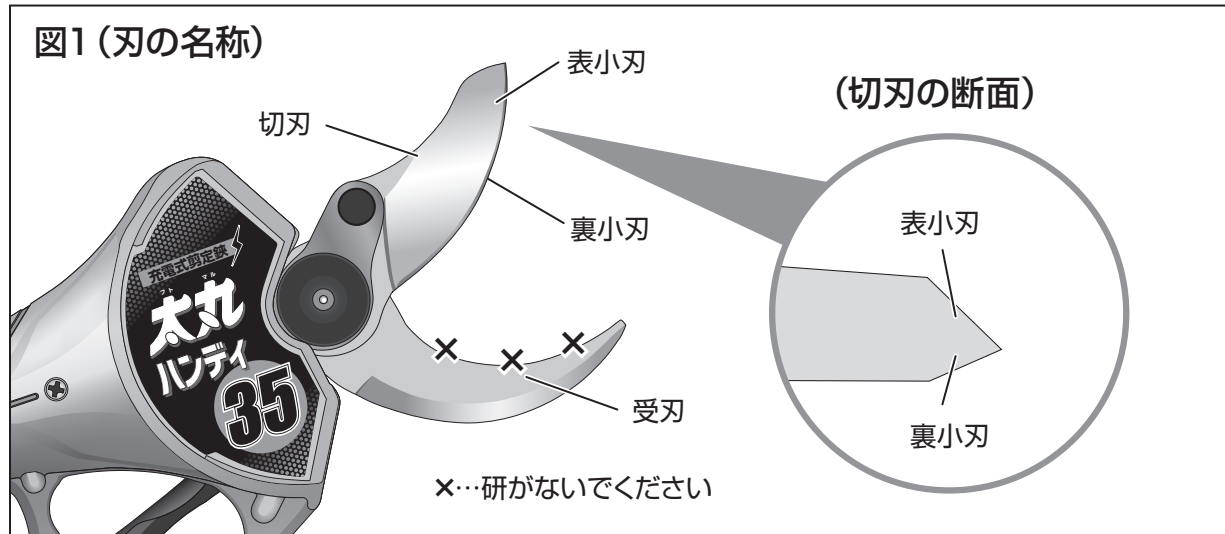


- ②ギア部分にグリースを塗布し、サイドカバーを取付けてください。



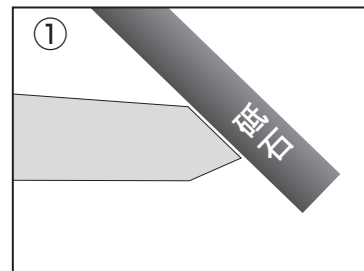
刃物の切れが悪くなりましたら、刃研ぎをするか、替刃（別売）と交換してください。

- ・使用する砥石…市販のダイヤモンドヤスリ、もしくは#1000程度の砥石
- ・切刃部分の表小刃…8に対して裏小刃…2の割合で研いでください。
- ※裏小刃を多く研ぎ過ぎますと切れが悪くなります。（切刃の名称については図1参照）



■刃研ぎ手順

①小刃の角度に対して平行に砥石を当ててください。



②刃の形に軽く滑らすように、矢印の方向へ方向に研いでください。



故障かな?…と思ったら



注意 簡単な消耗品の交換以外、ご自身で分解・修理は行わないでください。分解・修理をされた場合、たとえ保証期間内であっても、保証対象外となります。

こんな時は・・・	考えられる原因	処 置
動かない。	・電源コードとバッテリーが外れている。	・電源コードとバッテリーを接続してください。
	・電池容量が少なくなっている。	・充電器とバッテリーを接続して充電してください。
	・電源スイッチが入っていない。	・バッテリーの電源スイッチを入れる。
	・バッテリーや周辺温度が10～40℃以外の状況下で使用されますと、正しく動作しないだけでなく、バッテリーの寿命にも悪影響を与えますので、適正温度内でご使用ください。	
	・トリガーを深く握れていない。	・トリガーをしっかりと握ってください。
	・待機モード、オートパワーオフ機能が作動している。	・バッテリーの電源を入れ直し、トリガーを素早く2回引いてください。（P18参照）
	・ハサミ部に異物が挟まっている。	・電源を切り、異物を取り除いてください。（P16参照）
切刃の切れが悪くなり切断が上手にできない。	・切刃が欠けたり、摩耗している。	・刃研ぎをするか、新しい切刃に交換してください。（別売）
	・ハサミ部に異物が挟まっている。	・電源を切り、異物を取り除いてください。（P16参照）
本機から異音がある。	・切刃やボルト類が正しく取り付けられていない。	・正しく取り付けてください。
	・切刃が変形、破損している。	・切刃を新しいものに交換してください。（別売）
	・部品が故障している。	・お買い上げ販売店もしくは弊社に修理をご依頼ください。
充電ができない。	・バッテリーと充電器が正しく接続されていない。	・接続を確認してください。
	・本機、またはバッテリーの温度が高くなっている。	・本機、またはバッテリーを日陰に置くなどして冷ます。（水をかけない）
	・部品が故障している。	・お買い上げ販売店もしくは弊社に修理をご依頼ください。
バッテリーの残量が以前よりも早くなる。	・硬い木や太い木を切断したり、長時間使用している。	・本機の能力に見合った範囲内でご使用ください。
	・外気温が低すぎる。	・外気温が10～40℃の範囲でご使用ください。
	・使用限界になっている。（バッテリーの寿命）	・バッテリーを新しいものに交換してください。（別売）

刃の交換方法

注意 安全のため、刃は閉じた状態で作業をしてください。
また、必ずバッテリーのコードは外して作業してください。

● 替刃の中身を確認して下さい
※上刃と下刃はそれぞれ別売です。

N-938-1 上刃 (止め輪付き)



N-938-2 下刃

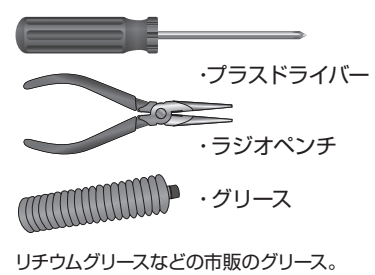


● 取り換えに必要な工具

※付属しています



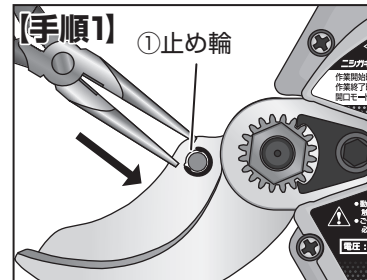
※付属していません



刃の取り外し方

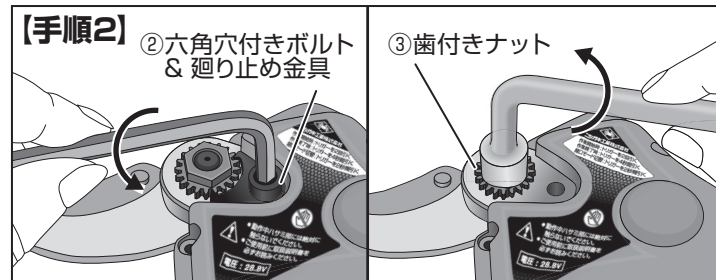
【手順1】

裏側より、ラジオペンチなどを使用し、①の止め輪を取り外します。



【手順2】

裏側より、太丸ハンディ35に付属しているレンチを使用し②のボルトと廻り止め金具を外し、③の歯付きナットを取り外します。



【手順3】

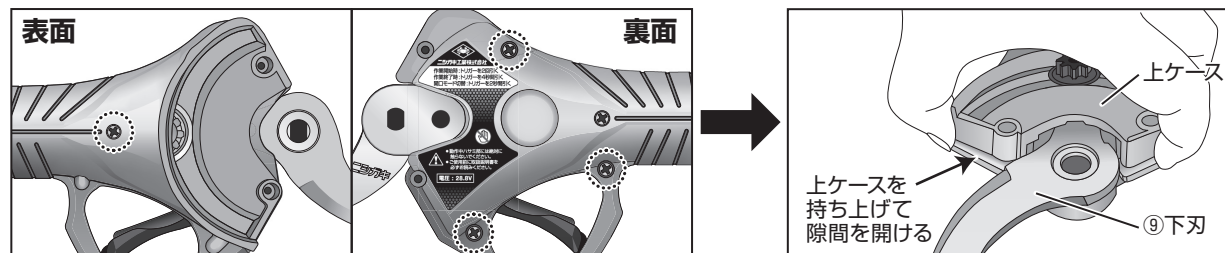
裏側より、④小ネジ2カ所を、プラスドライバーで取り外してください。

【手順4】

表側より、(P19:替刃交換用分解図)を参照し、⑤サイドカバー、⑥ラッチピン、⑦スイングアーム、⑧上刃の順に取り外します。

【手順5】 下刃を交換する場合

下図○印のケース組立ネジ4か所を取り外し、上ケースを持ち上げ、⑧下刃を取り外してください。
※ケース全体を開けると組立が困難になります。図に記した部分以外のネジは取り外さないでください。

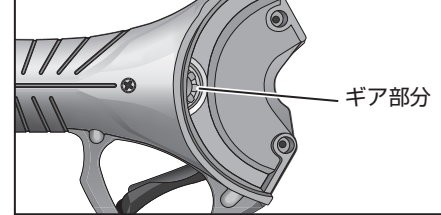


刃の取り付け方

【手順6】

ギア部分に市販のグリスを注入します。

【手順6】



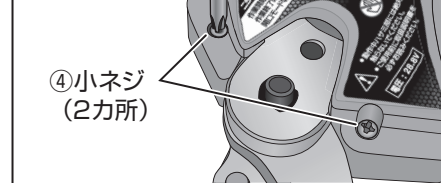
【手順7】

⑨下刃、ケース組立ネジ、⑧上刃、⑦スイングアームを取り付けます。その際、それぞれに付属の潤滑油を塗布してください。(P19図、各斜線部分)
⑥ラッチピンの軸部分に潤滑油を塗布し、本体に取り付けます。(P19図⑥ラッチピンの斜線部分)

【手順8】

⑤サイドカバーを取り付け、裏側より④の小ネジで取り付けます。

【手順8】



【手順9】

裏側より、③歯付きナットを付属のボックスレンチで取り付けます。

注意 ③歯付きナットは、締め過ぎると刃の動きに支障が出ます。刃がぐらつかない程度に締めてください。

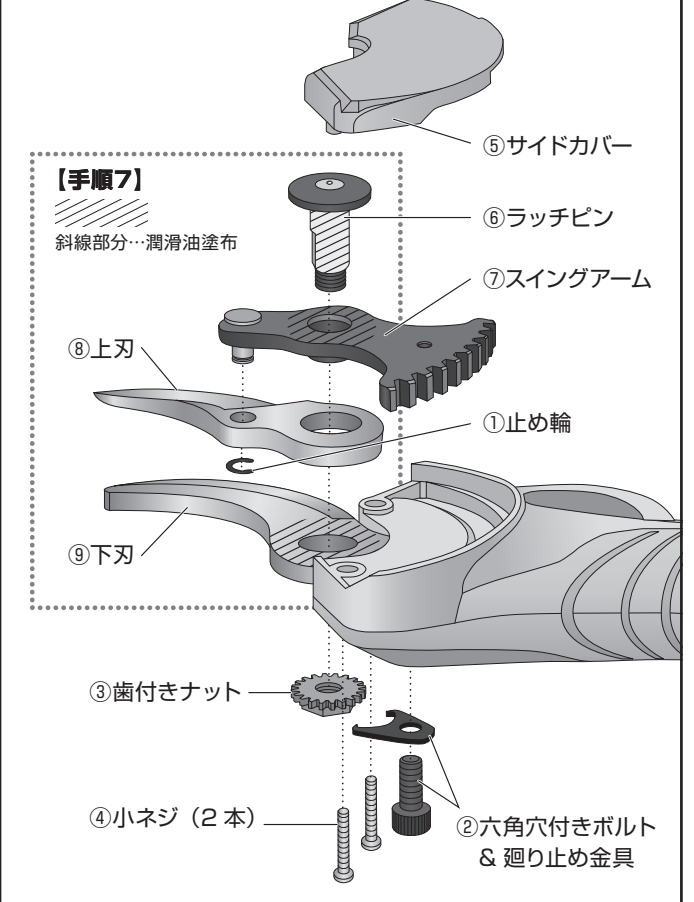
廻り止め金具を付け、②六角穴付きボルトを付属の六角レンチでしっかりと締めこんでください。

【手順10】

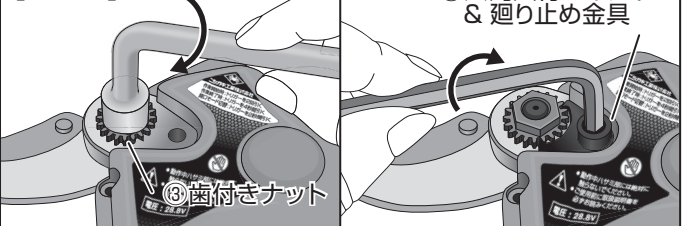
裏側より、ラジオペンチなどを使用し、①止め輪(替刃に付属している物)を取り付けます。



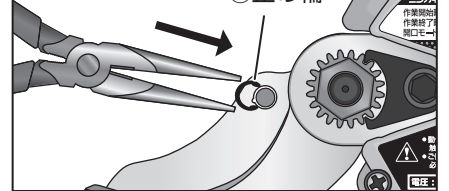
【替刃交換用分解図】



【手順9】



【手順10】



注意 替刃の交換をした際や、メンテナンスのために刃を付け直した際は、必ず試運転を行ってください。